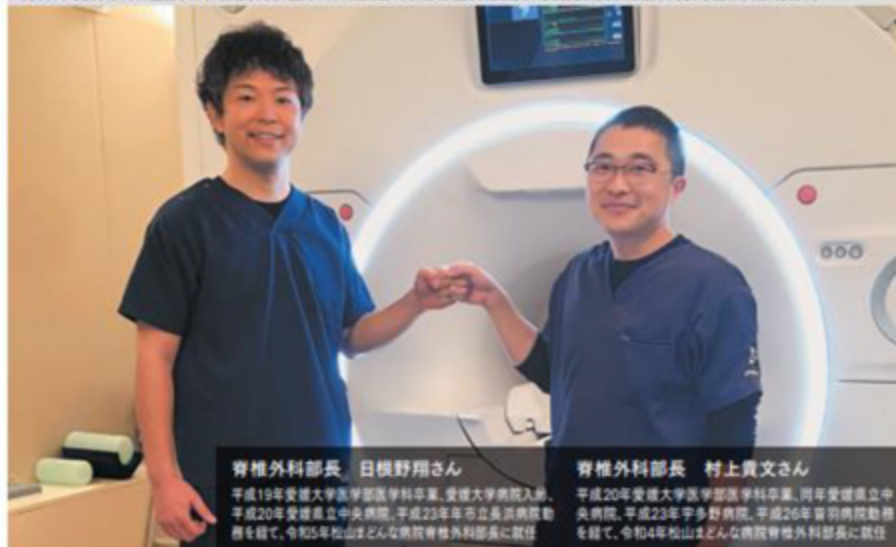


「痛みの悩みを軽減し、健康寿命を延ばすサポートを」 12診療科目で地域医療に貢献、救急医療にも対応

松山まどな病院

内科、小児科、外科、整形外科、脊椎外科、産婦人科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、美容皮膚科、麻酔科（牧野佐和）、放射線科



脊椎外科部長 日根野翔さん

平成19年愛媛大学医学部医学科卒業、愛媛大学病院入部、平成20年愛媛県立中央病院、平成23年市立長浜病院勤務を経て、令和5年松山まどな病院脊椎外科部長に就任

脊椎外科部長 村上真文さん

平成20年愛媛大学医学部医学科卒業、同年愛媛県立中央病院、平成23年宇多野病院、平成26年富田病院勤務を経て、令和4年松山まどな病院脊椎外科部長に就任

ご相談ください

- ☐ 首・腰の痛み
- ☐ 手足のしびれ
- ☐ 脚の血管が浮き出ている
- ☐ 脚がすぐにむくむ
- ☐ 脚が頻りに腫る
- ☐ 月経以外に出血がある
- ☐ 月経の量が多い・痛い
- ☐ 生理が来ない・不順
- ☐ 股関節・膝関節の痛み
- ☐ 長時間の立ち仕事で足が痛い



日根野翔医師と村上真文医師が内視鏡や顕微鏡を用いた低侵襲手術に対応。内視鏡手術後の傷は15mmほどであり、回復が早く、短期間の社会復帰が目指せる

松山まどな病院

①松山市善与町1丁目7-1 ②73台
③伊予鉄道市内電車警察署前電停
から松山城方面へ徒歩5分
④土曜午後、日曜、祝日 MAP P00

☎089・936・2461



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	●	休
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	休

●受付時間は8:30~12:00、13:30~17:00
●診療科によって診療日時、受付時間が異なるため、詳細はHPで確認を



「患者さんのその後の生活を見据えて、その人に合った治療選択をお伝えするようにしています。また、女性には妊娠・出産に安心して臨めるように支援させていただきます。人生のターニングポイントを笑顔で一緒に乗り越えていきましょう」と産婦人科の金子久恵院長

脊椎外科は腰椎椎間板ヘルニア、 腰部脊柱管狭窄症の治療に注力

地域医療への貢献と質の高い医療の提供を目指して取り組む松山まどな病院。松山市の二次救急医療機関として救急医療にも尽力しています。

2023年4月に脊椎疾患を治療する脊椎外科を新設。おしりから足にかけての痛みで日常生活に支障をきたす腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症の治療に力を入れています。「内服治療やブロック注射で痛みの緩和を図りますが、効果がみられない場合は手術も選択になります。当院では体への負担軽減のため、傷口が小さい内視鏡や内視鏡や顕微鏡下の手術を取り入れています。痛みにお悩みの方は一度ご相談ください」と日根野脊椎外科部長。

産婦人科では婦人科良性疾病に ともなう悩みに対応

産婦人科では、子宮筋腫や子宮内膜症といった婦人科良性疾病に伴う症状の治療に対応。「子宮筋腫や子宮内膜症に

伴う月経困難症や過多月経による貧血は病気として自覚されていない方が多く、症状が重くなって受診される場合も。早期治療のためにも気軽に受診していただけるよう、一人ひとり丁寧にご説明することが大切だと考えています。子宮がん検診や子宮頸がんワクチンの接種も行い、進行する前に発見して治療に結びつけられるよう心がけています」と金子久恵院長。

下肢静脈瘤治療に 血管内塞栓術を新たに導入

形成外科では、下肢静脈瘤を中心に、外反母趾や巻き爪など足の治療に対応。下肢静脈瘤は「できるだけ切らずに治療する」をテーマに治療に取り組み、血管内塞栓術（グルー治療）、レーザー治療、ストリッピング手術を実施。日帰り手術も可能です。血管内塞栓術とは新たに導入した治療法で、下肢静脈瘤の原因となっている静脈内に医療用接着剤を注入し血管を閉塞させます。「手術だけではなく、患者さんの状態に応じて治療方針を決定しております」と土岐博之副院長。

力を入れている治療 形成外科のフットケア



下肢静脈瘤の症状例。網目状（左）や伏卵型（右）といった症状が見られる

●下肢静脈瘤

足の血管がコブになる病気。静脈の中に弁があり、逆流を防ぐ弁が壊れることで発症します。主な血管治療法は以下で、日帰り手術も可能です。

- ・レーザー治療（焼灼術）
- ・グルー治療（血管塞栓術）

【発症のサイン】

- ・足がむくむ
- ・こむら返り
- ・だるい
- ・むずむずする
- ・熱く感じる
- ・かゆい
- など



「下肢静脈瘤は、浮腫みや痛みのはかに、血管が浮き出ることによる外見上の問題で来院される方が多いです。また、足の親指の付け根が内側に飛び出す外反母趾や、異常に爪が湾曲してくる、巻き爪などのフットケアにも力を入れています。悪化すると何もしない時でも痛みが出る場合があります。そうなる前に治療し、症状改善を目指します」と、形成外科の土岐博之副院長。



院内はフリーWi-Fiが利用可能。